資料－1

平成19年度第2回新技術活用評価会議_審議案件　技術概要及び審議結果一覧

審議区分	技術名称	NETIS 登録番号	技術概要（NETISより抜粋）		評価会議 審議結果概要
			技術分類	何について何をする技術なのか?	
事前審査	FTマッドキラー工法	CB-010011-A	土工 土工 残土処理工	FTマッドキラーは、製紙製造工程上発生するペーパースラッジ灰を処理して製造したもので、化学的に非常に安定したセラミックスであり、高吸水性を有する化学的に無害な製品である。建設発生土の有効利用が図れない「泥土」を「瞬時」に改良することが可能で、さらに処理土は中性域で「自然にやさしい」改良材であることから、土質改良による建設発生土の利用範囲を広げることが可能。	条件付試行可： 実施工にあたっては、事前処理の必要性および再泥化による強度低下について確認する必要がある。また、標準工法までは官負担、それを超える部分は申請者負担。
	カルグリ	KT-010060-A	土工 軽量盛土工 軽量盛土	盛土工事において、再生品ではないコンクリート用人工軽量骨材を用いることによって、施工を簡便化する技術。	条件付試行可： 寒冷地で実施工を行う場合には、事前に再生骨材の凍結融解試験を行う必要がある。また、標準工法までは官負担、それを超える部分は申請者負担。
事後評価	FCB工法	KT-980624-A	土工 軽量盛土工 軽量盛土	セメント・細骨材・水及び気泡から構成される気泡混合軽量土を軽量盛土材として用いた工法。 スラリー状のモルタル(あるいはミルク)にあらかじめ発泡させた気泡を混入して作製する。	従来技術に比べて活用の効果は優れている。 ただし、活用の条件の違いによる評価のバラツキがある。
試行計画	袋詰脱水処理工法	KT-020065-V	土工 土工 残土処理工	高含水比軟弱土をジオテキスタイル製透水袋に充填し、脱水を促進して土工材料(盛土材や埋土材、植栽基盤、他)として利用する技術。	試行計画に基づき現場で試行してよい。

※各技術の詳細情報は、新技術情報提供システム[NETIS]で提供しています。
NETISアドレス：http://www.mlit.go.jp/netis/